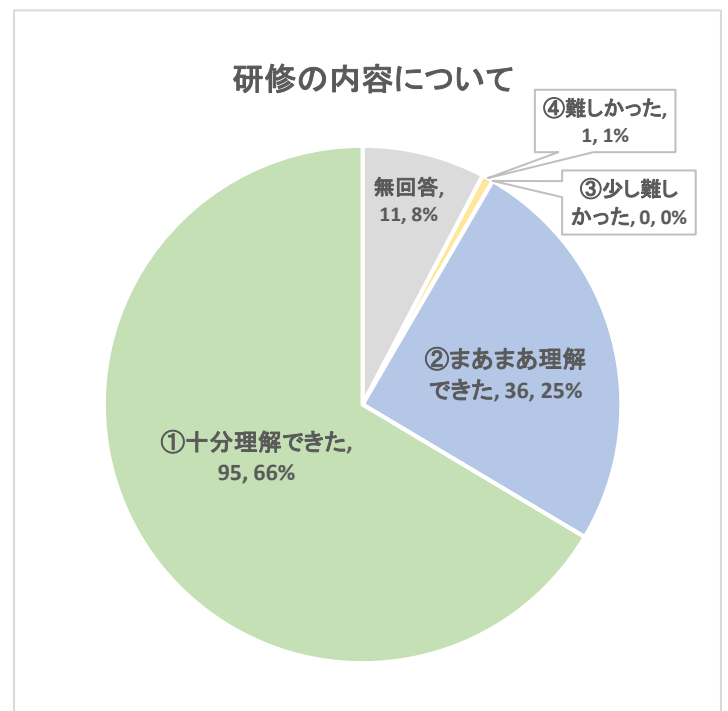
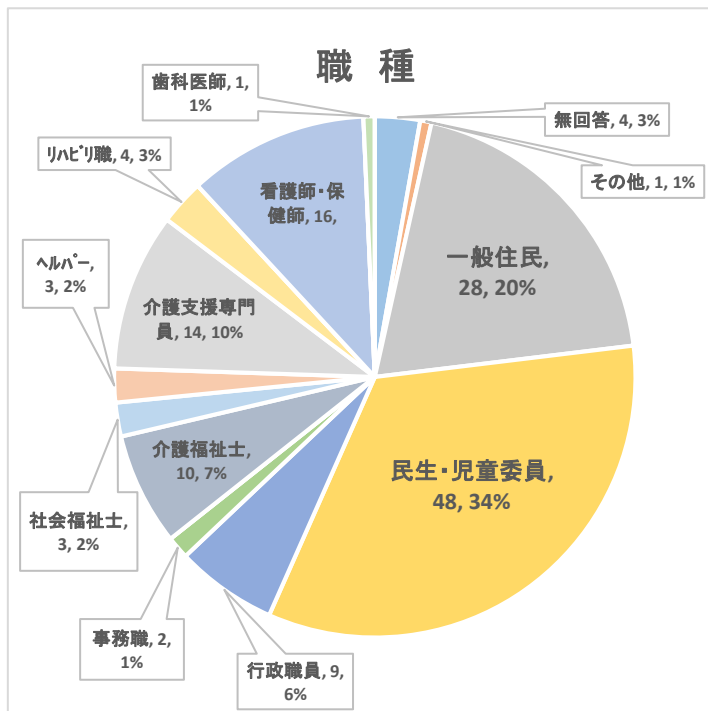




講演を聞いた感想・ご意見

- ・大変わかりやすくまとめられており勉強になりました。
- ・2年半前に末廣先生には主人が在宅医療をしていただきました。最後の1週間前一度診ていただき、適切な対応をしていただき、感謝しております。
- ・私も一人で生活してまして、夜中寝れない時はついつい色々考えてしまいます。心強いです。
- ・在宅の現状が知れてよかったです。
- ・おかがき病院の看取り件数で、ランキングを見て驚きました。本人の思いと家族の思いのギャップが一般の方に伝わると良いなと思いました。
- ・老いや死に対して日本ではネガティブなイメージがある為か、なかなか自分や身近な人の最期について話す機会が少ないように思う。もっとラフにそういう話し合いが行われればいいと思う。
- ・人生会議を実施しようと思います。
- ・10年後20年後更に高齢化がすすみ、病院や施設に入ることが難しくなると思います。両親、家族と終末期について話し合いたいと思います。
- ・何度お話を聞いても違う事例を見ると”なるほど”と思います。どれだけ生きたかではなく、どう生きたか…自分の納得する生き方をしていきたい。息子も離れて暮らしていると、なかなか意志の疎通ができないでいます。「遠くの親戚よりも近くの他人」昔の人はよく言ってくれますね。ご近所のコミュニケーションを大切にしていきたいと思っています。
- ・ACPの重要性について、つくづく考えさせられました。
- ・元気な時には考えなかった。大事な事と思い、講演を聞き、私も考えておこうと思い、大変いいお話しでした。
- ・一人暮らしでいろいろ思うことですが、一人でも出来る限り在宅でと思っています。選択肢が増えました。

講演を聞いた感想・ご意見

- ・今まで介護について家族と話し合い、自分の考えを伝えたつもりでしたが、年とともに周りの変化や自分の体調とともに変わりつつあります。周りとのコミュニケーションの大切さや感謝を忘れず、「どう生きたか」を考えながら生活していこうと思います。先生、良いお話をありがとうございました。
- ・在宅看取りだけでなく、施設でも看取りが出来る施設を目指していきたいと思います。
- ・現在67歳で、これから死ぬまでのことを考えなくてはと日々考えてますが、少しも具体的に想像することができていないです。今回講演を聞き、じっくりと家族とも話題にして考えていこうと思います。必ず来る自分の死をもっと真剣に考えてみます。
- ・訪問看護が遠賀郡にあるのをはじめて知りました。
- ・訪問介護の内容がよく分かった。
- ・人生の最後のことを家族と前もって話し合う、自分の希望を伝えておくことの大事さを思いました。以前に夫と二人で、もしばなゲームをしたことがあり、夫が家で死にたいと言っていたのでびっくりしたことがあります。私は家族に迷惑をかけるので、病院の人には申し訳ないけれど、病院でと思っていたので。子供達に伝えなければと思います。
- ・医療の進歩と延命治療は？
- ・当事者や関係者、経験しないと分からないので、今回の講演を聞くことによって深掘り出来たと思います。
- ・初めての事でしたので身にしみて聞きました。身分はどのようになるのだろうと思いました。二度のガンをしていますので。
- ・先生や看護師さんに感謝です。
- ・自分の死期がわからないので、自分の生き方や希望を書いておく事がなござりになる。私も75才の時に胆管癌で手術を受け、手術当日の朝、看護師さんにメモ用紙をもらい遺言書みたいな物(自分の死後の事)を書いて、妻に封筒に入れて渡し、術後の経過が悪かったが医師のおかげで死線を乗り越え現在に至っています。自分の生き方、延命治療等の事はまた書いていない。
- ・自身の未来を考える参考になりました。
- ・看取り看護は家族も大変だと思うが、本人にとってはとても良いと思います。
- ・年齢的に耳が遠くなっているので、もう少しゆっくり話してほしかった。
- ・在宅医療を利用しながら自分らしく住みなれた場所での生活をおくる事の手伝いが出来れば良いと思いました。人生会議の大切さについて勉強になりました。
- ・在宅医療については、息子娘が薬剤師なので、ある程度理解していましたが、お話を聞かせて頂き、よりいっそうの理解ができました。
- ・在宅医療や看取りの話を聞き、家族の事や祖母の事をあらためて考え直さないといけないなと思い、本人への意向確認をしたいと思います。
- ・良かった。
- ・身近な家族のことを考えながら聴かせて頂きました。義母の介護を日々しながら常に思うことは”これでいいのだろうか…”。義母は今の生活に満足し望んでくれているのかです。認知症があり、自分の意志を伝えることができないため、家族の考えになってしまってます。もっと前にしっかりと義母と向き合うことができたならよかったなと思いました。

講演を聞いた感想・ご意見

- ・認知症になってしまった祖母にどうしたいかを聞いても、まともな返事をしてくれない場合、家族が最期をきめてもいいのか…。延命治療をすることがきついことなんじゃないかと色々考える中で、先生が安心させてくれるような声かけをしてくれて、おかげ様で祖母も元気に過ごせているので、今日の講演でどう生きてきたかが大事だなと思いました。これからもよろしくお願いします。
- ・大変難しい事ですが、77才ですが、あと何年生きられるかをしつつ考えてしまいます。今、やれる事に集中していきたい。
- ・家よりも病院の方が設備があるので安心かなと思っていますが、残り少ない命ならば家に帰った方が良いのかな？
- ・誰もが通る道、なかなかむずかしい事であるが、講演を聞き少しは理解できた。
- ・末廣先生のお話は何度か聞いたことがありましたが、今回も大変勉強になりました。
- ・死を考える事により生きていく(よりよく)。大切にしていることを信頼できる人に話す(人生会議)。「人生の先輩達を見習いながら、どうやって生きて行こうか？」と考えています。」自分も年齢に近い状況ですので、参考にしたいと思いました。
- ・元気なうちに人生会議を行い、自分の終活を家族に伝えておきたい。
- ・先日、地区の高齢者の方が亡くなりました。最後に在宅医療の件を話したのですがダメでした。そういう場合はやはり本人の承諾なしにはダメなんでしょうか。奥様は認知症で他に家族はいなくて…悔しい思いがしています。ここに書く事ではないとは思いますが。大変勉強になりました。
- ・施設に入りたくないという方がたくさんいらしゃいます。元気な人も段々と動けなくなってくるので、在宅医療を選択肢にあることを情報提供していきます。
- ・在宅医療は家族の協力が必要なので、日頃から家族でしっかり話し合っておかなければ自分の思いだけでは難しいと思った。
- ・人生のおわりをどう迎えたいか、自分の考え、家族の考えを知ることは大事だと思いました。仕事をするなかで、関わる方々のその人らしさを大切にしていきたいと改めて思いました。
- ・知らないこともあり、参考になりました。
- ・高齢社会の中、在宅介護が必要となってくる。
- ・末廣先生の三度目の講演でした。回を重ねる度に少しずつではありますが、理解が深まる感じです。
- ・今のところ元気ですが、今のうちから先の事を考えておかなければいけないと感じました。在宅医療の事を聞けて、安心感が出てきました。
- ・内容がとてもわかりやすかったです。
- ・良い先生にめぐりあいたいと思います。
- ・前はDrとは遠い存在の人だと思っていましたが、今はDrが寄り添ってくれて身近に感じられています。
- ・わかりやすく良かった。
- ・今後の自分の考える事に対して良かった。
- ・まず、自分自身の考えを整理して、見守ってくれる子供達に、ことあるごとに話して理解してもらっておくことと、エンディングノートは記入しておこうと思った。自分の死に対する自分の考え方をまとめておこうと思った。

講演を聞いた感想・ご意見

- ・とても判りやすく理解出来た。
- ・どれだけ生きたかではなく、どう生きたか。自分らしく生き、最期が後悔ないようにむかえることができる人は、どれくらいいるのだろう。その一人になりたい。半年前、在宅で父を看取ったが、自分らしく生きてたと思う。
- ・自宅や介護施設で亡くなる人の割合が、北九州市は少ないことに驚いた。在宅の選択肢をもっと多くの人に知ってほしいと思えた。
- ・とてもよい勉強になりました。少しでも身近な方に寄りそっていきたいと思います。
- ・お話を聞き、とても良かったと思いました。
- ・住民さん向けに非常にわかりやすい講演でした。
- ・義母が97才なので、これからのことなどとても参考になりました。
- ・尊厳死を今一度おとしこんでいきました。施設、病院、自宅のメリット・デメリットについて、もう一度整理していききたいなと思いました。
- ・残りの人生をどう生きていくか。家族と一緒に考える人生会議を進めたい。自分の考えと家族の考え方をお互いに理解していくことが大切だと理解出来ました。
- ・私の母もR6.11.15に亡くなりました。岡垣の施設で亡くなり、病院ぎらいでしたので、最後まで施設で良くしてもらって、母も喜んでいると思います。おんが病院の先生にも良くしてもらって、ありがたく思っています。最後の10日間も病院で最後を看取るか、施設で看取るか、それは家族で決めることとおっしゃって下さいまして、施設で最後までお世話になりました。
- ・非常に参考になりました。
- ・いつも頑張っている先生をお見かけしています。その人がその人らしく出来る様に関わっていきたいです。
- ・本人の望む暮らしを聞いていても、叶えてあげられない事も多く、違う方法がなかったと考える。講演を聞いて、在宅生活が続けられる人がもっといると思いました。
- ・看取りについての大切さを再認識できた。ケアマネジャーとして利用者、家族によりそって支援していきたい。
- ・どれだけ生きるかではなく、どう生きるかの言葉が心に残り考えさせられました。自宅で過ごせるのは良いが、迷惑をかけたくない気持ちをくみとりながら、かかわって頂けるのがありがたい事だと思いました。良く話し、気持ちを伝えていくことが大切だと思いました。
- ・人生最期の過ごし方について、日頃から家族と話し合うことが大切だと思った。自分らしく最期まで過ごしたいと思っています(できれば自宅で)。
- ・人生会議の必要性、参考にしたいと思いました。
- ・私の住む地区では独居世帯が増えている状況です。ACP会議が大切であること、十分理解できました。
- ・日頃からのACP人生会議の取り組みを、まずは自分や家族で話してみようと思いました。ターミナルの利用者さんの望む生活を支えていきながら、最期どうしたいのか、思いをききながら、これからも多職種と連携を取り組んでいきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・居宅で取り組みをしていますので、本日のお話はとても参考になりました。選ばれしケアマネになりたいと思います。
- ・在宅看取りを今後も事業所で推進していきたいと思います。

講演を聞いた感想・ご意見

- ・私の子供は遠くに住んでいるので、人生会議を聞いて、今のうちに私のやりたいことや自分の死んだ後のことを話し合っていなければと思いました。「死を考えることは生きること」。自分が判断できなくなる時のことも考え、先生のお話は大変ためになりました。
- ・両親の看取り等、考えるきっかけになりました。
- ・ターミナルの利用者様の介護をさせていただく事もあります。今回のお話を聞き、ほんの少しでも思いを大切にケア出来たらと思いました。
- ・毎年講演を聞かたびに、どう生きて行くか、どう終末するかを考えさせてもらっています。
- ・ACPは実行中。このあとどうしちやおうは読んでみたい。末廣先生、高橋師長様にはいつもお世話になり、助言頂き、ありがたく思っています。
- ・訪問診療、訪問介護の一回の利用料金等わかれば参考になると思います。すべて利用するのには、必ずお金が必要になります。
- ・よく理解出来ました。家族との対話が大切だと感じました。どう生きたか、社会の一つでも役に立てたか、役に立つには、考えて暮らしたい。
- ・今まで最後の時の事など考えていなかったですが、そろそろ考える時なのかなあと思いました。
- ・在宅医療について、少し知識が得られました。
- ・とてもわかりやすいお話で、我が町の市民にも聞いてほしいお話でした。ありがとうございました。資料の字が小さかったので、2アップくらいで印刷していただけると嬉しいです。
- ・とてもわかりやすかったです。理解することが出来ました。
- ・住民の方にもわかりやすい、ていねいな講演だったと思います。
- ・在宅医療のメリットが十分理解出来た。リラックス出来る環境での最後が、いかに価値のあるものかが理解出来た。「家に帰りたい」という母親の事を思いつつ聴講させて頂きました。ありがとうございます。
- ・自分の最後(人生会議)を積極的に考えて行きたいと思いました。
- ・貴重な講演ありがとうございました。在宅医療することで、最期までその方が望むようにできると感じた。
- ・自分がどう最期を迎えるのか、いつ死がやってくるのかを考えると心配不安になるが、「どう生きるか」日々、一日今を大事にと感じる。
- ・わかりやすい説明だと思いました。
- ・人生の終わり方を考えるよい機会になった。
- ・私も85歳独居、月2回位は娘が生活費を持参してくれる。月水金、GGや卓球を仲間で練習しているが、雨が降る等したら分かっているのでゆっくりしていると、仲間が心配してかけつけてくれる。そういう自治会で生きています。
- ・今後の生活するに際し非常に参考となりました。
- ・先生のお話はよくわかりましたが、病気をしている本人も一番つらいと思いますが、家族で自宅で看護するとは、お互いに高齢の場合はやはり大変です。私の所もこの度施設に入所されました。5年間自宅でお世話を行っていましたが、これ以上家族では出来ないので、かかりつけの先生からのお話でわかっていただき、本日の先生のお話で理解少し出来ました。

講演を聞いた感想・ご意見

- ・参考になりました。本当にありがとうございました。
- ・とてもわかりやすい講演で良かったです。
- ・遠賀中間地域の在宅医療、看護の実際をもう少し知りたい。
- ・在宅か病院かを選ぶのがむずかしいです。
- ・人生会議参考になりました。
- ・あらためて自分のこれからの人生について考えさせられた。難しい問題だけど、精一杯これからを過ごしていきたい。
- ・色々な形がありますが、介護を必要とされているご本人がまず納得できる形や幸せを感じられる環境を整えてあげられるといいなと思いました。
- ・講演通り、本人の住み慣れた場所で自分らしく医療を受けたい。
- ・その人なりの「人生観」に伝えるところが多いかと思います。「病院なし」を望む人への対応も国にはしっかり考えていただきたい。まずは「1週間で病院から追い出される」現状の改革が…財務省に牛耳られている弱腰厚労省。
- ・問題の1つがよくわかった(これから多死が増加)。
- ・まだまだ今の所、健康でいるので思っていなかったが、いつどうなるかわからないので、考えてみたいと思いました。
- ・在宅医療に対する住民の方々の興味の深さが感じられました。
- ・非常にわかりやすく、スライドも良かったです。また質問の際にお礼を言われた方の言葉が更に重なり、とても良い講演会と思いました。
- ・非常にわかりやすい内容でした。いろいろなデータを見て、在宅医療が必要なこともわかったと思います(市民の方が)。
- ・質問の時に、末廣先生の訪問診療を受けたご家族の声をきいて、先生の日頃の診療の様子がよくわかり、また、素晴らしいと思いました。
- ・講演はちょっと難しかったです。
- ・訪問医療がある事が分かり、先が楽になりました。病院だけと思っていたので、選択肢がある事にありがたく思います。
- ・細やかな診療をされて、我々市民は安心して医療をお願い出来る事、ありがたく思います。
- ・家族の支援を得られない場合、在宅医療から施設入所への切り替えのタイミングが難しいと思う。本人が望んでも、在宅を認められない場合もあるが、やはり本人の希望はかなえてやりたいと思う。支える家族へのケアも大切。
- ・介護保険について仕組みを知らない人がいるのは不思議ではないと思ってました。私自身も一昔は知らなかったのので(関心がなかった)、これから周知されればいいなと思います。
- ・家族で話し合いをしないといけないと思いました。
- ・先生の講演は参考になり、勉強になりました。
- ・「結局のところ、どれだけ生きたかより、どう生きたか」本人が望む最後の迎え方、この想いを普段から共有しておくことの大切さを改めて感じる事ができました。普段、家族で思いを話し合うのは照れがあったり聞きにくさがあったりで、確認を先伸ばしにしている所があり、こういった機会に話し合えたらと思いました。
- ・「どれだけ生きるかより、どう生きたか」ととても大事な言葉だと感じました。自分が当事者になった時、家族の立場となった時、それぞれで考え方や気持ちが変わってしまうので、自分、家族、周囲の人やその状況、全てをすり合わせるのとはとても難しいのではないかと感じました。あまり深く考えたことがなかったので、少ししっかり考えてみる良い機会にもなりました。また、看護師としても、患者さんや家族の思いをしっかりきいて、サポートや介入が出来るような人にもなりたいです。

講演を聞いた感想・ご意見

- ・死を考えることは生きることの言葉が重くひびきました。今後の人生にいかしていきます。
- ・在宅医療に関して、とても理解しやすかったです。
- ・末廣先生には2022年に祖父を自宅で看取っていただきました。大変お世話になりました。誰もがいつかは迎える死の時を、本人の意志を尊重する為に元氣なうちから人生会議を行ったり、考えておくことが大事だと思いました。貴重なお話を聞けて良かったです。ありがとうございました。
- ・義父母のお世話を始めて(夫が死亡してから)14年、義父は8年前に亡くなり、義母の世話をしています。要支援2ですが、そろそろ疲れてきました。夫の兄姉も気使ってくれますが、日々ストレスというか重いものを感じています。こんな思いで過ごしたくないと思い、何か他のことにも自分を生かしたいと行動を起こしましたが…。今回もお話を聞いて、義母の今後を考えた場合、「自宅で」という気持ちはもちろんだと思いますが、なかなか話し合う機会もなくて、ズルズルとしています。私の場合も今回いい勉強しましたので、早目に子どもたちと話したいと思いました。
- ・知らない事はみんなに相談。
- ・わかりやすい資料と内容で、ありがとうございました。
- ・悔いのない最期を迎えられる様に、今をしっかりと生きたいと思います。地域住民の方にわかりやすい講演ありがとうございます。
- ・私は両方の両親を看取りまして、次々に病氣他色々ありました。その中で一番大変な事は介護保険で上がらないのでとても苦しみました。4人の両親の時、自分の父親の介護2から上がらないので97才まで生きましたが、足が歩けたからか、又ヘルパーさんには大変便利にしてもらい助かりました。結果、年金も少額でしたので、父の最後はこれで良かったかな。
- ・自分の最期をどう迎えるのか、考えさせられました。家族に迷惑をかけないように死にたいと思うばかりでしたが、そういうことでもないのかなと考えなおしました。
- ・とてもよい講演をきかせて頂き、感動しました。ありがとうございました。ヘルパーをしています、自宅で看取りを望む方がいれば、出来る限りの支援をさせていただこうと思いました。
- ・どのように生きるのか、本人の希望、本人にとって何が一番よいのかを考える機会となりました。自分の持っている知識、経験を活かしていきたいと思います。
- ・家族との話し合いについて、一層考えさせられました。母親が高齢なので、しっかり話し合いたいと思います。
- ・本人と家族の考えが異なるケースは、自分も経験があり、悩みました。他に知り得たことも、今後に生かしたいと思います。
- ・歳を重ねる事、変化する肉体が少々不安を感じました。健康である様にと願うばかりです。

映画「人生をしまう時間」を観た感想

- ・最期の時について改めて考えさせられました。
- ・介護される人、介護する人、先生、とてもやさしかった。ニュースなどでは大変な事を聞きますが、意外でした。
- ・ACPIについて考えさせられる映画で、よい学びとなりました。
- ・感動しました。患者さん、家族の一言一言の重みが胸にズシンとききました。

映画「人生をしまう時間」を観た感想

- ・多種多様のケースがあると改めて思いました。「最期の願いを叶える」に関わるような仕事がしたいなと改めて思いました。
- ・最初から最後まで泣いてしまいました。
- ・自宅で最期をむかえる事は、大変だと思います。家族、本人の希望の寄り添い、最大限近いものにしていきたいと考えます。自分自身、家族と相談しておかなければならないと考えます。今後、在宅医療が充実していくことを願います。
- ・いろいろな人生の終わり方があって、人それぞれでいいのだなと思いました。ピンピンコロリを目指していますが、どうなる事か。きれいな終わり方をしたいです。小堀先生の患者さんへの対応、とても素敵でした。家族本意のお医者さん、うれしかったです。
- ・家族、自分の人生をどう生かせ生きていくか、改めて振り返ることが出来ました。
- ・人生、多くの方の助けを頂き生きている事を思った。これから先の事をしっかり考える。
- ・最期まで自分らしく生きる、とても良かったです。家族で話し合っている事で大事な事。
- ・私の職場の在宅医の先生達に比べたら、大変な苦労だと思いました。
- ・延命治療もなく、在宅で過ごし、最後の時を迎えるというのに少し疑問を感じます。見殺しにしているのではないかと感じてしまいます。
- ・両親、主人の両親の最期を思い出しました。皆が通る道だと思いながらも、家で看取る事が残された者として、満足が行くと思いました。皆さんに助けられながら、家での最後を希望したいと思いました。
- ・いろんな最期があるとつくづく思った。経験のある素晴らしい医師なんだと認識した。
- ・自分の身内以外の方の最後を見せて頂き、色々の看取り、しまい方を見せて頂き、これからの事考えたいと思います。
- ・在宅医療はむずかしい。
- ・60を過ぎて在宅医師になったDr、歳をとったかではなく、自分が出来る事を出来る限りやろうと思えばやれるんだと感銘を受けました。
- ・身にしみました。自分事として見ました。
- ・死を迎える大変さ。自分の生き方考え方を分かるように口で伝えるだけでなく、ノートへ書き残し、事の大切さを痛感する。在宅希望だが、家族の事を考えると迷う。私は手術の時に献体をと書いておいたが、生還した後、妻はそんな話は嫌と言うので、その事はあきらめる。
- ・最高の先生です。私も今後の事を考えたいと思いました。
- ・最後を看取る事は大変な事だとあらためて思います。私も主人を最後まで看護し看取りましたが、あれもすれば良かった、こうすれば良かった、自分では精一杯介護したつもりでしたが、後悔もあります。
- ・在宅医の行動に涙を何回流した事でしょう。映画に字幕を入れるともっと良かった。年齢的に耳が遠くなっているのです。
- ・いろいろな人、家族にそれぞれの考え方があり、人生の終末期に過ごす方法は多様である。ご希望にそった生活が出来様にお手伝いが出来れば良いなと、この映画を見てあらためて考える事が出来ました。亡くなった父を思い出し、父の思いに寄りそえたか…と今日は考える事が出来、母には希望にそった終末をむかえてもらいたいと思いました。
- ・自分の家族におきかえてみて、私自身病室で亡くなった方がいいと強く感じました。みんな働いているので。
- ・その人その人で病気や家族がいるとか違うので大変だと思ったけど、先生が来たら安心するような描写もあったり、とても感動しました。

映画「人生をしまう時間」を観た感想

- ・家族が大変ですが本人が自分のままで生活出来た事は幸福だと思う。それぞれのしまう時間がある事を感じました。
- ・在宅医療の必要性をすごく感じる事ができた。家族のように接してくれる先生がすばらしいと感じた。
- ・自分に当てはまるかなと、つくづく思う。良い映画をありがとうございました。
- ・人生最後の時を見させて頂き、何度も涙しました。先生のやさしさを感じました。
- ・映画を見て、色々な方法、看取り方等あり、つい親父と妻の事を思い出した。
- ・何人かの人の最期の時間を見させてもらい、色々な事を考えるきっかけになりました。
- ・感動の一言。死とはこわいことではないことを知りました。最後に寄り添える仕事にたずさわることに感謝。医者はずいよいと思います。
- ・多くの人の人生を、しまう時間を見る事が出来、感動致しました。
- ・私の主人が去年の4月に亡くなって、今日の映画を見て主人の事を思い出して、主人の亡くなる姿が目に見えなくてとても悲しく涙がとまりませんでした。
- ・ありがとうございました。
- ・介護の現実、大変さがリアルに伝わった。訪問医療は疲弊する家族の救いになっていると思った。自分と自分の家族の、これからやってくる人生の最後をむかえる時のことを、すごく考えさせられる映画だった。
- ・旅立つ人、看取る家族、どちらにも寄り添っていて、そのあたたかい寄り添い方が印象的でした。時にジョークを交えながら関わっていて、不安だったり苦しかったりするであろうときに、少し肩の力が抜ける時間があるようにもみえました。家族の言葉は聞き入れられないが、医療者の言葉は入ったり、考えが変えられたりするので、自分の言葉、伝え方がしっかり相手に届くように努めたいと思います。
- ・自身も介護をしている為、気持ちも楽になり、力を入れずに無理せず過ごしていきたいです。
- ・自分や家族がどんな「人生のしまい方」をするのか考えさせられました。
- ・笑顔で看取りたい。
- ・人生を全うする事の大切さを感じました。次の機会を楽しみにしております。
- ・身につきました。誰でも来る最期の時を同化して見ていて苦しくなった。
- ・とても良かったですね。97才の母の時、私がどうできるか不安です。
- ・何度も見て来た光景でしたが、やっぱりいつも悲しいです。自分のできる事をいつも考えています。
- ・亡くなるシーンは重すぎる。民生委員の活動をどう結びつけていくのか、分からないくらい重いシーンだった。在宅医療で求められることは理解はできるが。
- ・看取りの映画大変良かったです。家族の大変さが良くわかる映画でした。
- ・自分自身の人生のしまう時、一瞬ではなく、その時間を考え、周りも納得してもらえるような一生を送りたいとつくづく思った。医師の方々の思いもとても感動した。
- ・介護される人、介護する人の気づかい、周りの手助けする人への感謝、訪問介護のあり方は大変な事と知った。在宅の治療へは頭が下がる。
- ・本人の思い、家族の思いがあり、それを支える在宅医や訪看さん、CMがいるからこそ在宅生活ができると思います。
- ・看取りの際に医療的な部分だけでなく、関りを大切にしていることが映画を見て理解出来た。

映画「人生をしまう時間」を観た感想

- ・涙が出るし、全盲の方があれだけの介護をされていて、健常者はもっと頑張らないといけないと思いました。
 - ・自分も最後の時、できれば家で迎えたいと感じました。関わる家族や本人にも情報を伝えていきたいと思います。
 - ・とても良かったと思いました。
 - ・専門職以上に住民さん向けのいい映画でした。
 - ・在宅医療の仕組みなど、良くわかりました。
 - ・”しまう時”自分ごととしてとらえていく。感じたことを言葉にできるようになりたい。
 - ・色々な看取りで、広美さんの父の看取り場面は非常に感動しました。
 - ・母を亡くした時を思って涙が止まりませんでした。これから先、民生委員として住民のみなさんとよりそっていきたいと思いました。
 - ・考えさせられ、今からの事を考える参考になりました。
 - ・胸が一杯になってしまいました。いろいろな終末がありますね。
 - ・色々な人生があるけど、皆一生懸命に生きてると感じました。泣けました。あんな先生に会えると、本人も家族も幸せだと思いました。
 - ・人に寄り添うことの大切さ、家で看取ることの大切さを学ぶことができた。
 - ・本人の尊厳を大切にしながら、最後を迎えられるのは幸せだと思いました。支えるチームがすごいと思いました。相談することがまずは大切であるとことを感じました。
 - ・医師、看護師さん、又はスタッフの方々の心にあたたまり、患者さんに寄り添い訪問介護される姿、私も最期はこうでありたいと思いました。
 - ・明日は我が身で映画を見ました。ちょっと言葉がない。
 - ・在宅の医師、看護師、ケアマネに頭が下がる思いです。
 - ・79才のケアマネジャーさんのことば、過程が大切と話していました。よりそう心や家族と過ごす大切な時間を、共有できるケアマネになりたいです。
 - ・自分の仕事と重ね合わせて見ていました。
 - ・多くの人に見てほしい。
 - ・在宅医療のリアルがよく見えて良かったと思いました。
 - ・50代女性の看取りや、全盲の娘さんを持たれた方など心に残りました。
 - ・その方の思い、家族の思い、それぞれ違って、途中で変わってもOK。何が正しく間違ってもいい事を再確認しました。
 - ・今までの映画より、すごく良かった。始めに出たおばあちゃんが、亡くなった祖母にそっくりで涙が止まりませんでした。
- 在宅での看護について、まだいろいろ考えさせられました。
- ・自分の最後をどう迎えたいのか、日頃からの声かけと意志表示ができるような言葉を選んで話しかける。チームワークの大切さ。自分の立ち位置をしっかりと自覚する。
 - ・自分も夫も心得が必要であり、充実した毎日でありたい。養女で育てられた私ですが感謝の人生をすごしたい。
 - ・訪問医師、看護師さんの大変さ優しさが良くわかりました。
 - ・皆さん、先生に見守られてよかったと思います。

映画「人生をしまう時間」を観た感想

- ・理想なのですが、家族が介護出来ない人は(在宅)の看取りは難しいかな？
- ・良い映画でしたが、時間が長すぎる感じがしました。
- ・言葉かけ、ひとつひとつが心にしみました。
- ・自然な表情が良かった。自分なら何ができるだろうと考えさせられた。
- ・非常にリアルな映像で、いろいろと考える事がありました。
- ・在宅医療、その周囲をとりまく人達、ありがたいなと思いました。十数年前、自宅で死にたいと望んでいた身内がいましたが(他地域)、その当時は病院側から無理だと言われ、「緩和ケア」で亡くなりました。今だに心が痛みます。その人がその人らしく望んだ場所で…一人一人の最後に寄りそえたら良いなと思います。
- ・笑って泣ける映画でした。心温まる映画でした。
- ・死にゆく人と医師の関係性、安心して死ぬということをしみじみと感じる時間でした。
- ・いろいろな終わり方があるなと思いました。自分は？と思って深く考えました。
- ・在宅で死を迎えることに不安があったが、映画を観て可能だと思った。
- ・私は緊急連絡装置の月/500で安全センターと連絡OK中なので、自然とひとりで天上する運命。女房も7年前、入院4ヶ月で天上した。今、足が弱ってきているので、在宅診療は参考になった。
- ・臨終のシーンがいくつも出てきました。80才近い私に大変参考になりました。
- ・私も最後はこのような死をむかえたい。本当にいい映画ありがとうございました。
- ・大変勉強になりました。感動しました。まだ勉強していきたいと思います。ありがとうございました。
- ・最後までその人らしく辛くないように苦しめないように寄りそってくれるチームがあることがすばらしいと思いました。
- ・小堀医師に共感できなかった。多職種のかかわりがもう少しみられるドキュメントだったら、もっと参加者にわかりやすかったのではないかなと思った。
- ・すばらしい先生に会えたことが一番良かったです。
- ・大変感動しました。自分の最後は？
- ・いつかは自分と重なる事を考えると、つらくてコメントできません。
- ・快適な環境や万全なサポート体制を整えたとしても、介護が必要なご本人やご家族にとって、それが最適とは限らない。大変な中でも生きる糧になっていた。ささやかな幸せなどを奪ってしまう可能性なども考えさせられる内容でしたが、そのような現場の中でも利用者に親身になってサポートして下さる医療従事者の方々が多くいらっしゃることに感謝しなければならいかなと思いました。
- ・「ドキュメント」を観て、最期に寄り添う家族の対応と医療介護にたずさわる医師や関係者の素晴らしさに感動しました。看取りの難しさもある。考えさせられました。
- ・どう旅立つか…覚悟の大切さを感じました。また、「家族が側に居ること、絆の強さ」がそこに及ぼすのかな…という思いもあり、「在宅死＝尊い」価値観の矯正、押し付けにならぬよう…。
- ・とてもよくわかったが、これからどう生きていくかを考えさせられた。
- ・現実になりえる場面にあったので、考えさせられました。
- ・心に残る映画でした。感動しました。

映画「人生をしまう時間」を観た感想

- ・映画を観て感じた事は、自分の先に起こる現実にはまっている事と考えます。本当に良い体験をしました。
- ・色んな人の最期の時が、自分ごととして考えさせられました。
- ・本人、家族の葛藤、訪問診療医師の姿勢に感銘を受けました。
- ・家族に最後まで見守られて死ぬ事は幸せだなと思います。
- ・人は死ぬんだと思いました。他人事のように思っていたのに、すぐ回り、私、近くに、いつでも、いかに生きていくか考えさせられました。
- ・人の生死、尊厳死を見つめる家族のかかわりを見せて頂き、自分に置きかえた時、まだまだ親に接する態度を見直すといえますか、優しく対応、接したく思いました。献身的医師、看護師はすばらしかったです。
- ・死との向き合い方を考えさせられた。
- ・在宅介護の現場を見させてもらいました。人の最後が静かで、本人にとって良い選択だったことと思う。人それぞれの思いが伝わってきた。
- ・あんな先生と一緒に過ごせれば、人生捨てたものではないと思います。介護する家族の休息の為に、入院やショートステイを検討する先生はとて素晴らしいと思います。家族の介護疲れからくる心中や殺人がなくなると思います。
- ・在宅介護の現状を見ることが出来て大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・色々な方々の最後の時を見て、少し気分が悪くなりました。先生や看護の方々、仕事は大変だなと思いました。人間の終わりは悲しい事ですが、いずれはおとずれる実感で胸がいっぱいになりました。
- ・様々な方の最後の迎え方をみて、家族の状況や受け入れによって、最後の迎え方が違ってくると思った。在宅看取りを家族がぎりぎりまで社会資源など利用しながら自宅でみていかれており、選んだ現実にみていくには家族の協力などが大きな力をもっていくと思った。貴重なご講演、ありがとうございました。
- ・病棟での勤務経験しかなかったため、病院から退院し自宅に帰った患者さん、ご家族の生活の様子が観れてとても勉強になりました。自宅に帰られる患者さんの入院生活を見直す必要性も感じたし、早期に退院できるようにアプローチする必要性も感じました。
- ・それぞれの最後がリアルすぎて、涙してみれませんでした。よりそっておられる先生がすごいです。そんな先生たちがたくさんいたらいいと思う。
- ・沢山のエピソードを見せて頂きました。家族のこと等考え、在宅医療への認識を新たにしました。ありがとうございました。
- ・最初から最後まで涙があふれて止まりませんでした。人それぞれの人生があり、人生のしまい方があり、どの方もとてもステキでした。小堀先生、堀越先生をはじめ、家族の方々もみんな素敵でした。たくさんの方に、この映画が広まるといいなと思いました。
- ・「どれだけ生きたではなく、どう生きたか」なるべく自分もよかったなと思える、思い出話ができるような、あと何年か、その前に義母も送らなければと思うのですが、けっして私がおいぬくことがないように、その間も自分のしたいことを見つけていこうと思います。映画は、夫と義父を送ってきた身としては、少しつらい感じがしました。
- ・自分の事として、子供によく伝えておく。
- ・母が意識をなくし、1週間看取りができた時のことを思い出して涙しました。信頼できる訪問看護、Dr、施設スタッフの方が最期に「よくがんばりましたね。お母さんもきっと喜んでいてでしょう」と言われ、自分自身これが母の幸せだろうかと不安があったので、それを打ち消すことができました。

映画「人生をしまう時間」を観た感想

- ・とても良かったです。
- ・人生の最期に小堀先生のように関わって下さる先生がいたら、どんなに嬉しくて幸福なことだろうと思いました。心温まる映画でした。死を迎えようとしている人に、安心感を感じてもらえるような介護をしていこうと思いました。
- ・私も看取りを数件させて頂きましたが、今後の参考になりました。Drや訪問Nsのすばらしさを再確認できました。
- ・その方の人生と医療のつきあい方、よりそい方を考えました。本人の気持ち、家族の気持ちを聞いていきたいと思いました。自分たちが専門職として、どこに目を向けていくのか、個人個人深く考えていきたいと思います。
- ・本人、家族の立場に立った視点で、在宅での最期を感じることが出来ました。
- ・寄り添うことのむずかしさを痛感しました。訪問介護の経験があります。

在宅総合支援センターへの要望、遠賀中間地域における在宅医療・介護連携等についてのご意見など

- ・訪問に関われてよかったと実感しています。
- ・大変な仕事と思いました。
- ・これからお世話になることが増えますが、よろしくお願いします。ご自愛くださいませ。
- ・これからもこういった講演会に参加していきたいです。
- ・寒くて落ち着けなかった。
- ・今日はありがとうございました。知らないことがいっぱいでした。(在宅医療等)
- ・介護する側の介護をどうするか。
- ・今後も色々なところでやって欲しいと思います。
- ・今後自分の事がそうなった時、まず一番に相談するのでよろしくお願いします。
- ・今、かかりつけ医はあるのですが、動けなくなった時、家まで往診してくれるのが心配。
- ・以前施設に訪問に来ていただいていたいました。状態の変化があるときはすぐに往診していただき、とても心強かったです。ありがとうございました。
- ・各町や各地域にある在宅訪問を行っている病院がわからない。自分の家の近い病院で、訪問診療を行っているか知りたい。
- ・勉強不足で在宅医療についてよく知らないことが多いです。機会があればもっと知りたかった。
- ・いつもお世話になってありがたいと思っています。
- ・よい研修会でした。
- ・友達のご主人が在宅で旅立たれた為、とてもよかったなと思いました。家族が車の運転をされず、面会の送り迎えのち在宅になり、私もご主人に会えたので感謝しています。ありがとうございました。
- ・近くにこんな先生がいらっしゃるので安心です。
- ・いい映画を観させていただきました。ありがとうございました。
- ・認知症の対応等わかるような映画があれば上映してください。
- ・いろんな情報を知ることが大切だと思いました。
- ・在宅医療が有る事を、がんや看取りを考えては等、主治医から伝えて頂きたい。

在宅総合支援センターへの要望、遠賀中間地域における在宅医療・介護連携等についてのご意見など

- ・会場に来ることが難しい人(すでに在宅療養中や入院闘病中など、又は障害のある人)のために、(仕事などでその日その時に行けない人にも)配信があればいい。合理的配慮として手話通訳をつけるとか、要約筆記の準備、バリアフリーの会場選定など、配慮が必要かと思います。その他歯科医師会(お口のケアサポート研究会)とのコラボ開催なども集客できるので、各々の面でも効果的では？と思います。
- ・研修会場所は一市四町もちまわりでお願いできたら、それぞれの市民が参加しやすいと思いますので、よろしくお願いします。終了時間を厳守してほしいです。
- ・つなぐ一員であるケアマネさんにぜひ末廣Drの今回の講演を聞いていただきたいなと思いました。
- ・本日はお疲れ様でした。ありがとうございました。
- ・沢山の人に広がっていく事を願います。
- ・看取りケア後のアフターケアとかはあるのですか？
- ・老後の心配は、今の内に家族と話し合っておくべきと感じた。
- ・できるだけ多くの方に見ていただきたいと思いました。
- ・本日はありがとうございました。暖房は開始時刻に間に合うよう入れておいていただきたかったです。
- ・今後とも、よろしくお願いします。
- ・毎年とっても素晴らしい研修をされていると思います。企画から当日までお疲れさまです。
- ・市民と多職種との素晴らしい研修ですね。企画から当日まで、ご苦労されたと思います。お疲れさまでした。
- ・勉強になる講演、映画上映、ありがとうございました。また参加したいと思います。ありがとうございました。
- ・今日は参加できて良かったです。ありがとうございました。また次回もお願いします。
- ・特になし、感謝あるのみ。
- ・遠賀地区の地域の皆さまのため、今までの経験をいかしながら、共に勉強したいと思っています。そのような機会があれば、ご相談させていただきたいと思っています。よろしくお願いします。
- ・在宅医療についての講演会、今後も続けていただきたいと思います。
- ・よい勉強の機会を与えていただき、ありがとうございました。